

〔県民局だより〕

「備前地域の和牛受精卵移植の取組」

備前県民局 畜産班

今回は、備前局管内において、最近盛んになってきた和牛受精卵移植の取組についてご紹介します。

1. 備前地域の繁殖和牛の情勢

備前地域は県北部に比べ、和牛生産が盛んな地域ではありませんでしたが、現在、備前地域では繁殖和牛の頭数が増えています（表1）。

表1. 備前局管内の繁殖和牛情勢

	H18(頭)	H19(頭)	増減
岡山県内	5184	5296	+112
備前局管内	454	525	+71
割合	8.6%	9.9%	63.4%

その要因としては、最近まで続いた子牛市場の高値維持等が上げられますが、その他に、和牛受精卵移植の取組が増えたことが要因の一つとして上げられます。

もともと備前地域は、全国でも早い段階で近代酪農が始まったように、酪農が盛んな地域です。現在でも県下の約4分の1の乳用牛が飼養されており、乳用牛から和牛子牛を産ませることが出来る受精卵移植を行う素地が整っていたと言えます。

2. 備前局管内受精卵移植の推移

近年、家畜保健衛生所が行った受精卵移植頭数をみても、備前地域の和牛生産への熱意が伺えます（表2）。

3. 地域受精卵移植の取組

表2. 和牛卵移植数の推移(岡山家保)

	H17	H18	H19
移植頭数	68頭	89頭	211頭

備前局管内に事務局を持ち、受精卵移植を推進している団体は2つあります。ひとつは受精卵移植に関する活動を昨年度から新たに取り組み始めた東備畜産研究会です。現在、会員数21名で、昨年度は「おかやま和牛増頭ネットワークモデル事業（以下ネットワーク事業）」を活用し、和牛繁殖農家と酪農家のお互いの協力もと、採卵3

頭・移植21頭を行いました。その結果、採卵・

表3. 採卵・移植成績(東備畜産研究会)

(1) 採卵成績

採卵頭数	平均総採卵数	平均正常卵数
3	11.3	10.0

(2) 移植成績

移植頭数	受胎率
21	66.7%

移植の成績はともに活動初年度とは思えないほどのすばらしい成果が出ています（表3）。

また、瀬戸内農協（10月から岡山市農協と合併予定）の管内を活動拠点とするJAせとうち畜産部会でも和牛生産に対する意欲・要望が以前から高く、関係規約等を整備し、今年度からネットワーク事業を活用した和牛受精卵移植の取組を開始することとなりました。こちらの地域では、繁殖和牛を確保するところから始まります。そのため、新たに酪肉複合経営等への取組を支援できるように、受精卵での流通を重視した設定も行っています。今年度は採卵3頭、移植頭数22頭を予定しています。

どちらの団体も和牛生産・増産への意欲が高く、その熱意に圧倒されます。

4. おわりに

和牛受精卵移植は、和牛農家・酪農家が協力し、受胎率等をクリアすることでお互いに大きなメリットが生まれる技術です。今回紹介した取組が備前地域の畜産の発展、さらには岡山県全体の畜産業界の未来に繋がっていくことを願っています。

